

産業医監修のもと、公的エビデンスに準拠（法定・特定健診項目等）して検査項目を設定しています。

		検査項目		
		一般健康診断 A2	人間ドック D1	
対象者		～34歳 社員/配偶者	35歳以上 社員/家族	説明
健診項目				
身体計測	問診（服薬歴、喫煙歴等）及び診察	◆	◆	
	質問票	◆	◆	
	身長・体重・肥満度（BMI）	◆	◆	
	腹囲	◆	◆	
	視力	◆	◆	
	聴力（1000、4000HZ）	◆	◆	
尿・便検査	糖	◆	◆	糖尿病などを調べる
	蛋白	◆	◆	疲労・生理などで異常値がでる場合がある
	潜血		◆	生理の時に（+）になることがある
	比重		◆	腎機能の影響があらわれる
	沈渣		◆	尿中の固形成分を見る検査
	便潜血2日法		◆*	大腸がんの検査（消化器系の出血などを調べる）
	血液一般	赤血球数（RBC）	◆	◆
白血球数（WBC）			◆	白血球の働きは体を防御すること。おもに感染症で増加する。
血色素量（Hb）		◆	◆	ヘモグロビンの量を測定する
ヘマトクリット（Ht）			◆	貧血、出血などを調べる
MCV・MCH・MCHC			◆	赤血球の平均の大きさ、血色素量などを表す
血小板数			◆	出血傾向などを調べる
肝機能		GOT	◆	◆
	GPT	◆	◆	肝臓に多く含まれる酵素でGOTと同じ働きをする
	γ-GTP	◆	◆	肝・胆道疾患の目安となる酵素。お酒をたくさん飲む人は高値を示す
	総ビリルビン（T-Bil）		◆	肝臓や胆のうに病気があると血液中に増える
	総蛋白（TP）		◆	血液中に含まれているタンパクの総称
	アルカリフォスファターゼ（ALP）		◆	骨、肝臓、胆のうに多く含まれる
	アルブミン（Alb）		◆	総蛋白の中で一番多いタンパクの総称
脂質	中性脂肪（TG）	◆	◆	エネルギー源として使われ、皮下脂肪のもとになる
	総コレステロール（TC）		◆	血液中のコレステロールの総量
	HDLコレステロール（HDL-C）	◆	◆	血管の中を掃除して動脈硬化を防ぐと言われている
	LDLコレステロール（LDL-C）	◆	◆	悪玉コレステロールと言われ、動脈硬化の危険因子になる
糖尿	空腹時血糖	◆	◆	糖尿病や低血糖症の可能性をチェックする
	ヘモグロビンA1c（HbA1c）		◆	約1～2ヶ月前の血糖値のコントロールの度合いを表す
腎	血清クレアチニン（CRN）		◆	腎臓に病気があると血液中に増えてくる
	eGFR		◆	慢性腎臓病の重症度を測る指標
感染症	C反応性蛋白定性（CRP）		◆	炎症や組織が破壊されたときに値が高くなる
	HBs抗原		※1	B型肝炎ウイルスの感染を調べる
	HCV抗体		※1	C型肝炎ウイルスの感染を調べる
梅毒	TPHA定性		◆	梅毒の検査、肺炎肝硬変などでも陽性を示すことがある
循環器	血清尿酸（UA）		◆	痛風の原因物質
	血圧	◆	◆	心臓収縮時が最高血圧で、拡張時が最低血圧
	眼圧		◆	緑内障を発見する検査
	眼底（両眼）		◆	高血圧や動脈硬化などを調べる
呼吸器	心電図（安静時）	◆	◆	不整脈、心肥大などを調べる
	胸部X線（1方向・直接）	*		肺結核、肺がん、じん肺、心肥大などを調べる
	胸部X線（2方向・直接）		◆*	
肺機能検査		◆	肺活量などを調べる	
超音波	腹部エコー		◆	肝臓・胆のう・腎臓・すい臓などを調べる
消化器	胃部X線（直接）		◆*	バリウムを飲んで粘膜を見やすくする
前立腺	PSA検査		◆* ※2	前立腺がんを調べる

※1 40歳時に実施

※2 50歳以上男性に実施

女性				
婦人科	乳房触診		*	乳がんなどを調べる
	乳房マンモグラフィー		* ※3	
	乳房超音波		* ※3	
	子宮細胞診・内診		*	子宮がんなどを調べる

※3 マンモグラフィーか超音波どちらか選択

50・55・60・65・70歳				
脳神経	MRI		◆	脳梗塞、脳腫瘍等、脳内疾患を調べる
	MRA		◆	

自己負担で追加・変更できる検査項目

35歳以上				
変更可	胃カメラ検査		* 自己負担あり	差額を自己負担して、胃部X線（バリウム検査）から胃カメラ検査へ変更できます
追加可	胃がんリスク検査（ABC検査）		* 自己負担額 3,870円(税抜)	ピロリ菌に感染していないかを調べ、胃がんになるリスクが高いか低いかを分類する検査

黄色	法定健診指定項目	紫	がん検診項目
緑	特定健診指定項目	点線	特に指定のない項目
黄緑	法定健診&特定健診	黒	人間ドック協会指定項目